

重点目標一覧表（中間報告調書）

【平成26年度重点目標】

担当部局名	丸子地域自治センター
-------	------------

重点目標	地域経営会議の設立 ～参加と協働による住民自治の先進モデル構築～
1	具体的な重点取組項目（箇条書き）
	期限・数値目標等
	進捗状況・進捗度
自治会や地域協議会、各種団体との意見交換	5月までに検討開始
地域経営会議設置に関する検討会議を設立し、区域や規約のほか組織や一括交付金制度の利活用等の検討 地域経営会議の設立	7月までに検討会議を設立、9月までに区域を決定、12月までに規約等決定 年度内に設立
4月に地域担当職員の配置を受け検討を開始、5月から地区自治連等との意見交換会を開催（9月末時点：のべ21回272人参加）、地域や各種団体の課題等の意見集約を実施 7月に地域協議会委員による県外先進地視察を実施し、直接地域経営会議を設立する方針として、地域経営会議は丸子地域内に一つ設立する形で9月の地域協議会に素案提示、10月以降も自治連等との検討実施予定 地域経営会議の位置づけについて、住民自治組織の検討等を行う組織と決定し、3月までに設立予定	
重点目標	キラリと輝く丸子温泉郷の活性化
2	具体的な重点取組項目（箇条書き）
	期限・数値目標等
	進捗状況・進捗度
【活性化へ向けた取組】 鹿教湯温泉100年ブランド創造プロジェクト策定マスタープランの事業絞込みと具体化に併せて鹿月荘、クアハウスかけゆのあり方を検討 鹿教湯・霊泉寺の活性化グループ（霊泉寺温泉JUKUプロジェクト）が行う各種計画や研究に参加し具体化を検討 県等と連携し、着地型旅行商品の開発とPR活動の実施 【鹿教湯温泉の地域課題解決への取組】 温泉権利問題・多額な滞納問題の解決と新温泉統合協定の締結 温泉利用権に係る諸課題に対応した基準の整備 今後10年以降を見据えた地域ニーズの把握 将来の収益確保につながる設備投資等検討	年度内を通じて庁内ワーカー会議での検討と地元会議等へ参加・支援 年度内を通じて地元会議等へ参加・支援 県主催の商談会等で2回以上PR実施 権利・滞納問題に関する和解合意と新協定締結（4月中） 12月までに整備 6月までに意向調査の実施 3月までに具体的な行程等を提示
庁内ワーキング会議（1回）でマスタープランの事業分担を検討、地元会議（3回）に参加し、事業の絞込みについての協議を実施、鹿月荘・クアハウスかけゆのあり方は地域協議会の分科会において検討を実施 7月12日に霊泉寺温泉JUKUプロジェクトが開催した霊泉寺温泉クリーンフェスタの開催協力、11月1日に開催する鹿教湯温泉ふれあいノルディックウォークフェスタや内村っ娘の会の活動などへの協力、支援を実施 長野県主催により7月7日に東京で開催された商談会に地元関係者と参加、着地型旅行新商品を開発【信州お試し移住21泊】 当事者間での和解合意と新協定の締結を4月に行い、多額な滞納金についても同時に解消 問題点等の把握を行い、基準整備の検討を開始 利用意向調査を7月に行い、その結果得られた問題点について分析開始 の分析結果を受けて再調査を行ったうえ、行程等の検討を実施	
重点目標	安心なまちづくりの推進 ～災害に備えたまちづくり～
3	具体的な重点取組項目（箇条書き）
	期限・数値目標等
	進捗状況・進捗度
災害時情報の収集・発信方法の確立と本部機能の強化 防災行政無線の利活用 災害時要援護者登録制度【住民支え合いマップ事業】の推進	8月までに庁内ワーカー会議で手法等を決定し、防災訓練で試行。10月までに改善点を反映したマニュアルを作成 8月までに研修会を実施し、防災訓練でも使用するほか災害時有効活用を目的に通常業務でも利用促進 未導入である4自治会へ制度説明と導入促進。既導入自治会の台帳更新（年1回）を支援
情報収集・発信方法については6月の庁内ワーカー会議（3回）で手法等を決定し8月27日に通信訓練を実施、本部機能強化として上田市地域防災計画に即した丸子地域の職員初動体制の見直しを実施、9月の庁内ワーカー会議で改善点を検討、10月にマニュアル作成予定 5月29日防災行政無線の使用講習会を実施、その後丸子地域内の複数地点においても訓練を実施、8月30日の防災訓練にも使用したほか、掲示板等での啓発を実施しながら通常業務での積極的利用を促進 未導入自治会の自治会長や民生児童委員と連絡を密にし、説明会開催の依頼や状況の把握を実施 台帳更新対象17自治会の各更新時期に合わせ10自治会について、新規対象者の抽出、照会などの更新作業を実施	
重点目標	環境にやさしく笑顔が広がる地域づくり
4	具体的な重点取組項目（箇条書き）
	期限・数値目標等
	進捗状況・進捗度
【地球環境に配慮した取組】 可燃ごみの削減と再資源化の促進 不燃ごみ3分別丸子モデル事業の見直し 【やさしい地域づくりへの取組】 公共交通活性化の推進（循環バスと路線バスの利用者増） 障害者就労施設等からの物品調達推進	可燃ごみ：対20年度比7.8%削減 6月までに雑がみ回収袋配布と全26自治会へ向けての説明会実施 自治会・関係団体へのアンケート5月～6月報告・見直し検討・説明 8月～10月 年度内を通じて庁内ワーカー会議での検討と地域協議会とも連携した利用促進策の検討と実施 調達目標額30万円以上（市目標額の15%）
可燃ごみ：対20年度比2.95%減少（80,070kg） 対前年度比1.66%減少（44,410kg） 雑がみ回収袋導入説明会は6月中に希望12自治会に実施。雑がみ回収袋の配布は8月までに終了 自治会・関係団体へのアンケート9月実施、現在回収分析中。報告・見直し検討・説明 10月～11月の予定 庁内ワーキング会議（1回）、地域協議会の交通分科会（3回）で公共交通利用促進を検討、循環バス利用促進のため、ラッピングデザインの選考実施（自治センターだより8/16号で周知、市民投票実施のうえデザインを決定9/25）10/1からの運賃低減バス充実「終バス延長・エリア拡大」ポスター配布、自治センターだより10/16号掲載 9月末現在の調達額204千円（物品：ソーラー式街灯、発芽玄米 役務：印刷、花壇散水）進捗率68.1%	
重点目標	明るく親切で満足度の高いセンターづくり
5	具体的な重点取組項目（箇条書き）
	期限・数値目標等
	進捗状況・進捗度
【庁内横断の情報共有と迅速で質の高いサービス提供】 地域内課題への機敏かつ効果的な対応の充実 【さらなる来庁者満足度向上への取組】 庁舎内での積極的かつさわやかなあいさつや、担当窓口までの丁寧な案内を徹底 接遇向上研修会の実施 あいさつ・声かけ月間（仮称）の実施 職員接遇意識調査・来庁者アンケートの実施	庁内ワーカー会議において、年間を通じて地域課題や地域予算の活用等を検討のうえ必要事業を実施 通年 10月までに全職員対象の研修会開催 強化月間設定、実施（10月、3月） 調査・アンケートの実施（10月、3月）
6月に災害対応に関する集中討議を実施（3回）、防災訓練（8/30）実施結果について9月の会議を開催、地域課題への対応や地域予算の活用については、各会議において継続的に協議を実施 6月25日に接遇向上推進委員会を開催し、事業計画等協議。併せて接遇取り組み状況の確認と周知徹底を実施。各課ごと、毎日の朝礼等において所属長から接遇についての周知を実施 9月26日に公募接遇研修会へ出席した職員を講師に、職員対象の接遇研修会を実施し56名出席 10月と3月を接遇強化月間と定め、接遇向上に向けた取り組みを実施予定 9月26日の研修会時に職員接遇アンケートを実施、来庁者アンケートは3月実施予定	

市長指示事項
<ul style="list-style-type: none"> ・地域経営会議の設置については、モデル地区として地域の機運が高まるよう鋭意取り組むこと。 ・公共交通の利用促進については、PR等鋭意努力し進めること。 ・職員の接遇については、更に向上するよう引き続き努力すること。